

第35回 病態生化学セミナー
夏期集中セミナー：ヒストンとその仲間たち (II)

日時：平成22年7月22日（木曜日）午後4時00分～

場所：医学部 図書館3階 視聴覚室

演題：ヌクレオソーム形成：その多彩なレシピと料理人たちの協演

Making nucleosomes: Various recipes and the chefs

演者：名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科 准教授

田上英明 先生

クロマチン構造の基本ユニットであるヌクレオソームは、試験管の中でDNAとヒストンをうまく混ぜれば、「塩」だけで作ることができる。しかし、生体内においては、多くのヒストンシャペロン因子をはじめ、ATPaseクロマチンリモデラーが働くことで、様々なDNA代謝経路に応じて迅速かつ多様なヌクレオソームが形成される。私たちは、クロマチンに挿入されていない可溶性ヒストンを反応中間体複合体として解析することにより、クロマチン形成ダイナミクスの理解を目指している。本セミナーでは、分裂酵母において新規に見いだした可溶性ヒストンH3/H4結合因子Mlo2を含めて、酵母をモデル系とすることで明らかとなってきたヒストン分子の量的バランス制御や細胞増殖との関連性など最近の知見を紹介する。ヒストン複合体解析から見えてきたヌクレオソーム形成経路やその制御メカニズムについて、その共通性と多様性を議論したい。

【田上英明】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp